

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 72 号

2017 (平成29) 年3月18日 (土)

ホームステイを体験して

ちとせしりつとみおかちゅうがっこう ねん かいどう はな
千歳市立富丘中学校 1年 街道 花

今年の一月、千歳のアンカレッジ訪問事業により、ホームステイができる機会に恵まれました。もともと、外国の文化や風土に興味を持っていたので、まるで宝くじに大当たりした気分でした。

私を受け入れてくれたホストファミリーはとても温かくて、お父さん、お母さん、アレキザンドラ、弟のローウェンと一緒に、魅力スポットをたくさん回りました。もう私は日本に帰りたくなくなっていました。

食べ物は、しょっぱいものが多いと感じました。そして日本の2倍の量を食べるのに苦労しました。アメリカ人はすごい! と思いました。

アラスカの昼はとても短く、午後3時には夕日を見ることができました。極寒のせいでしょうか、空気が澄んで陽がよく見え、感動的でした。

びっくりしたのは、玄関が2階にあったことぐらいで、普段の生活とあまり変わりませんでした。それに、アレキザンドラとローウェンは、日本語がとても上手で、もはやどちらが日本なのかわからなくなりました。

ホストファミリーやアラスカで出会ったたくさんの友達は、とても優しく、いつも気遣ってくれました。最高に充実した一週間でした。そこで私が作った言葉は、“人存在所に仁の心在り”です。アラスカは、まさにそういう場所でした。

アラスカで出会った人みんなが私の大切な宝物になりました。他にも大切になった事や物がありますが、人と人の絆や仁の心は、日本にいてもアラスカにいても、たぶん他の国でも、変わらない大切なものではないかな、と思いました。

今回の素敵な機会を通して、色んな国への興味が一層高まりました。そして、たくさん挑戦することで、さまざまな可能性が広がることも学びました。

この経験をしっかり生かして、仁の心を持って、毎日を大切に過ごしていこうと思います。

じゆく せい しょう かい 塾 生 紹 介

やまもと あきらくん し めい みつだ ゆきか
山本 彬君 (氏 名) 光田 雪花さん

札幌市立緑ヶ丘小学校 1年 (学校名・学年) こひつじ幼稚園 年長

図工 (好きな教科) 体を動かし、外で遊ぶこと

スキー (趣味(好きなこと)) 夏はキャンプ、冬はそり遊びとスキー

信おじいさん (尊敬する人) お父さんとお母さん

(その他)

習い事は空手と論語で好きな食べ物は味噌ラーメンだそうです。得意なことはお好み焼きをお料理することだといいますから、すごいですね。

食べることに興味があり、料理することも得意とのこと。現在ダンスと体操を習っていますが、4月から小学生になったらピアノかバイオリンを習いたいと意欲満々です。

(先生からのコメント)

父親は高校時代に私が担任しました。男気のある友達思いの真の北海健児でした。彬君は論語と坐禅のどちらも楽しく大好きだと親に話しているそうです。父親としても嬉しく思っているとのことでした。

彬君、最初の頃は少し戸惑いもあって不安そうにしていたのですが、今はやる気十分のようで成長の跡が見て取れるのは嬉しい限りです。その内、妹さんも参加してくれるとのこと、楽しみにしています。

誠実で心優しいお母さんに育てられている三人の子供さんは、人の心の痛みがわかる明るく元気いっばいにお母さんをサポートしているようです。お兄さんの虎ノ介君と二人で論語塾に来てくれますが、論語の素読が大好きとのこと。二人とも、一番下の弟を可愛がり、面倒もよく見てくれていて、お母さんも大助かりのようです。その内、三人で参加してくれることを期待しています。

※ 来月(4月)は、幸村 秀子さんと山崎 さくらさんを紹介します。